

- 季節の花：・コキア・リンドウ
- コラム：花きの流通
- 情報：花のイベント

ふらっとふらわーず ニュース

- 発行：ふらっとふらわーず
- 2016 秋号：第16号
- 連絡先：042-682-2835
- 編集委員：内田信子

季節の花

★【コキア】アカザ科／バッシア属

枝を束ねてホウキに利用していたことから「ホウキギ・ホウキグサ、帚木（ハハキギ）」の和名があります。

春にタネをまくと晩秋に枯れる**一年草**

で、細かく茂る莖葉が美しく、こんもりとまとまった草姿が可愛らしいです。夏になると茎に小花をびっしりと付け、花には雄花と雌花があります。花びらはなく、淡緑色の萼があります。夏は**爽やかなグリーン**色の葉ですが、秋になると真っ赤に**紅葉**する姿が美しく、収穫できる実は「**とんぶり**」「**畑のキャビア**」と呼ばれ食用になります。「とんぶり」は唐から来たブリコ（ハタハタの卵が転じた名前だと言われています。漢方ではこの果実を「地膚子（じふし）」といい、強壯剤や利尿剤として利用します。

学名の「**バッシア・スコーパリア**」の「スコパーリア」とは「**ほうき状の**」という意味です。日本へは中国経由で渡来したといわれ、「本草和名」（918年に記載されている）ことから、その頃にはすでに入ってきていたと思われる。枯れた茎はホウキ、果実は食用にと、実に無駄がないその利用価値の高さから、江戸時代には広く栽培されていました。

正式名を「**ホウキモロコシ**」という、イネ科の一年草の植物も「ホウキグサ」と呼ぶことがあります。藁の材料となる植物には、シユロや竹、ワラなどもあり、その他にこの「ホウキモロコシ」があります。江戸時代も中期以降になると、**畳が庶民の住居にも普及した**ことで、**当たりが柔らかくて「シ」がある**「ホウキモロコシの藁」が、座敷用の藁として普及しました。「コキアで作った藁は、枝が固いので、**庭掃き用**に適しているといわれます。関西では座敷藁の材料としてシユロが一般的だそうです。

枯れたコキアを**2〜3日陰干**して、**枯葉**や種、弱い茎などをはらい落とし、**柄が見え**、**柄を付けたお手製の藁**が出来上がります。柄が見えつかない時や、ポリウムがないときは、**茎そのものを柄**にして、**ミニ藁**も作れます。

花言葉

「夫婦円満」（花言葉辞典）

（参考：ヤサシイエンゲイ、国営ひたち海浜公園、白木屋傳兵衛）



コキアの藁



ホウキモロコシ



コキアの花



★【リンドウ】リンドウ科／リンドウ属

リンドウは秋の山野草の代表的なものです。本州、四国、九州に分布し、人里に近い**野山から山地の明るい林床や草原**に見られます。人気が高く、薬草としても広く知られています。春に細い芽が伸びてきて、ササの葉に似た細い葉をつけ、茎は次第に立ち上がります。夏が過ぎると茎は次第に横に倒れ、秋が過ぎたころから先端に小さな蕾をのぞかせます。蕾は渦状に巻いた状態で、日を追うことに伸びます。そして、暖かい日ざしのなかで、**青紫色で5つに裂**かれた筒状の花を数輪開きます。花後にはさや状の果実がつき、秋も深まるころには葉が枯れて休眠に入ります。

園芸的改良が盛んで多くの品種が見られ、鉢花や切り花などでも流通しています。

育て方

栽培環境：春の芽出しから梅雨明けまでと秋の彼岸ころからは日ざしの下、梅雨明け以降は葉焼けしやすいので、明るい日陰に、冬は強い凍結を好まないの、棚下などで

水やり：1日1回、春秋冬は朝、夏は夕方以降にたっぷり**肥料**：不足すると葉が黄変。生育期は月2回ほど、三要素等量の液体肥料。春と秋に1回ずつ置き肥を鉢縁に

ふやし方：植え替えの際に株分け。5月上旬から6月上旬さし芽。花後に黄変して割れたさやから粉のような小さなタネを採取し春に捲く

作業：タネをとらない場合は、咲き終わった花から摘み

花言葉「勝利を確信する」「正義」「誠実」（花言葉辞典）

（参考：趣味の園芸）



コラム

「花が届くまで」花きの流通

花は、どのように皆さんのところに届くのでしょうか。「**花き**」の**生産者**から**消費者**に**たどり着くまで**を紹介します。

日本の花きの販売農家数は**8万1千戸**

あり、気象条件を生かして**北海道から沖縄まで**全国に広がっています。早いもので、種を撒いてから**3ヶ月**、平均すると**4ヶ月〜6ヶ月間**、大切に育てられた後、出荷されます。種からだけでなく、苗から育てられる場合もあります。

が、出荷までに必要な時間は同じです。中には、開花までに時間が**3年以上**もかかるものもあります。（ユリ科の植物など）また、自分で新しい品種を開発する生産者もいて「**ブリーダー**」と呼ばれています。



切り花の場合、収穫された花は**10本や20本**くらいにたばねられ、**100本程の単位で段ボール**に寝かせて出荷されます。最近では花を傷めないように立った状態で段ボールに詰めたり、**バケツ流通**といった工夫をしたりしています。切花は、まず農協など**出荷団体**にまとめられ、**そこから市場へ**出荷されるという経路をとることがほとんどです。

鉢物の場合は、鉢の**サイズに応じてプラスチックのケース**に詰め込まれ、**ケース単位**で出荷されます。鉢物は**個人で出荷**される場合が多く、一部で地域の園芸組合などの団体単位で出荷される場合があります。商品は**セリ分として出荷**されるほか、卸売業者と仲卸業者または売買参加者との間においてあらかじめ締結した契約に基づき確保した物品の卸売（**予約相対取引**）の場合があります。生産者からの集荷依頼やこちらからの注文に応じた提携している運送会社に集荷を依頼する方法も取られています。

外国からの輸入の場合は、外国の生産者から、輸入業者を経て市場に持ち込まれます。その他に、今はインターネットなどで直接生産者と消費者がやり取りする場合もあります。

市場はその所在地や施設の規模などにより次のように区分されています。都道府県、人口20万人以上の市が農林水産大臣の認可を受けて開設する卸売市場が「**中央卸売市場**」と呼ばれ、東京では、大田、板橋、世田谷などにあります。卸売市場の面積が**200㎡以上**で、都道府県知事の許可を受けて、株式会社、農協等が開設した市場を「**地方卸売市場**」と呼び、八王子、多摩などにあります。日本で花き部門最大級の**大田市場**は、全国各地や海外から入荷された、めずらしいお花をたくさん見ることができ、一般の人でも見学ができます。

（参考：東京都中央卸売市場、花の情報局）



情報

「花のイベント」

（事前にご確認ください）

- コキアカーニバル
9月17日（土）〜10月23日（日） 国営ひたち海浜公園
- 「コスモまつり2016」
9月24日（土）〜11月3日（祝日） 国営昭和記念公園
- 第14回日比谷公園カーテニングショー
2016年10月22日（土）〜10月30日（日）
- 第56回神代植物公園菊花大会
10月28日（金）〜11月20日（日）